

経済学

— 社会を見つめるまなざし —



佐藤 健治

マネジメント学類

ようこそ！

名前：佐藤 健治

メール：sato@eco.osakafu-u.ac.jp

主担当/専門：マクロ経済学， 経済成長論

オフィスアワー：[@B1-319](#)

いつでもどうぞ



マクロ経済学について

マクロ経済学とは ……

国・地域・都道府県などなど

集合体の経済活動を分析する経済分析

マクロ経済学とは ……

マクロ経済学は集計量（合計/平均）に注目

総生産・総投資・平均物価

・全要素生産性 etc.

マクロとミクロの類似点

幸福追求・利潤追求を目指す個人・企業が集まると、いずれ「これ以上は誰も儲けることができないう状態」（均衡）に達する

マクロ経済学もミクロ経済学も、均衡に至る過程と均衡での経済状況を分析する

マクロとミクロの違い

ただし，個々人の最適（ミクロ経済学）が全体の最適でないことがある。

合成の誤謬

集計量について特別な取り扱いが必要になることも（マクロ経済学）

合成の誤謬の例

将来の経済見通しが悪くなると、将来に備えて個々人は消費を減らして貯蓄を増やす。

しかし、マクロの消費は所得を決める重要な要因なので、消費が減ると所得が減る。

結果的にマクロ全体として貯蓄は増えず、消費と所得だけが減るという可能性も……

マクロ経済学の役割

集計量の関係を把握して，不況時に政府が適切な舵取りをするために使う

- 介入すべきポイント，その方向
- 介入すべきでないポイント

を判断できるように

1人あたり実質GDP

特に重要な集計量が1人あたりの実質GDP

- 1年間に国内で生産された全付加価値（名目GDP）を
- 物価水準の変化の影響を除して（実質化）
- 人口で割ったもの（平均）

1人あたり実質GDPの変化

これを「経済成長」という

日本の1人あたりの実質GDP

- 2000年 = 約364万円
- 2015年 = 約407万円

0.7% の平均成長率。低い？高い？

問題

現在同じ経済規模の2つの経済があるとしよう
1つの国は成長率（年率） 2%， もう1つは 0.7%

30年後にはどれぐらいの差が開いている？

(a) 15% (b) 25% (c) 35% (d) 45%

正解

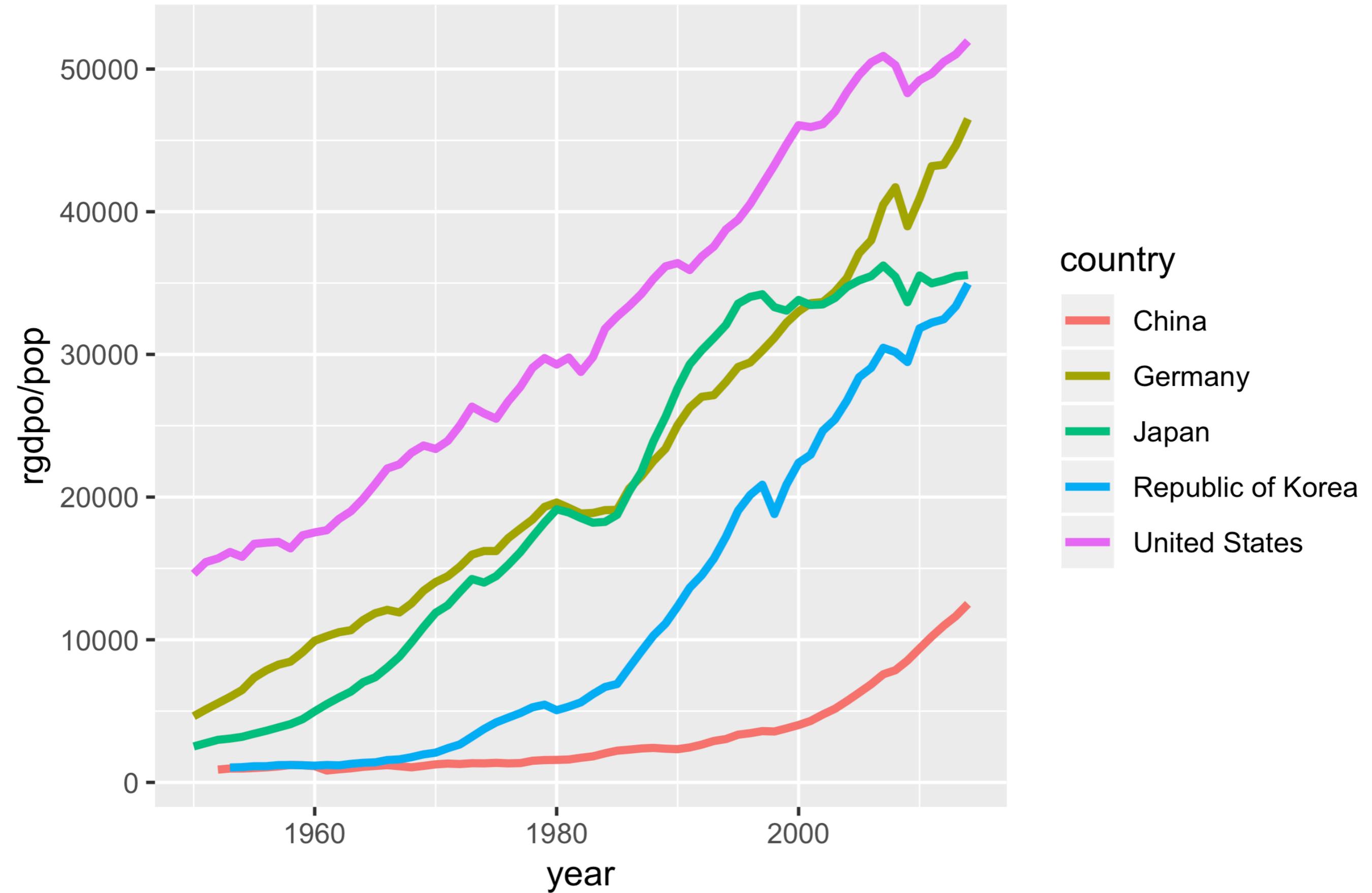
(d) 45%

今，一人あたり実質GDPが500万円の国が2つあるとして，30年後の様子は

成長率が2%なら約910万円に成長

成長率が0.7%なら約615万円にとどまる。

Penn World Table v9.0



マクロ経済学と政治

福祉国家体制

現代の資本主義国家は「福祉国家体制」

市場経済を前提にしつつも、市場では解決できない所得格差や景気変動による社会厚生が悪化（失業や所得減少）

を政治的権力を行使して積極的に解決する

福祉国家にはカネがかかるので、持続可能性については

つねに意識しておかなければいけない

財政の持続可能性

政府が赤字を続けられるのは、返してもらえると信じて国債を買ってくれる人がいるから。

EUでは加盟国の財政の持続可能性を担保するため、赤字・債務の上限を設けている。

- 財政赤字（フロー）はGDPの3%以下
- 政府債務（ストック）はGDPの60%以下

名目GDPと政治

名目GDPは政府が借金を返すための原資なので、大きいほうがいい（赤字比率も下がる）。

しかし、GDPは経済活動の規模を測る大切な指標なので、できるだけ正確な推計が必要。

何をGDPに含めるか？

時代によって少しずつ変わっている。

教科書的には「地下経済の経済活動（非合法麻薬・売買春などなど）は測れないからGDPに含めない」とされている。EU諸国はGDPに含めている。

日本では民泊やメルカリなどで売買される個人のサービスをGDPに含めようとする動きがはじまりつつある（今は手数料と送料のみ算入）。

GDPは何を測っているのか？

例えば覚せい剤の市場規模が1000億円として、それを算入することで1人あたりGDPが800円嵩上げされたとしよう。

それは、日本国民1人あたりの豊かさがこれまで800円過小評価されていたということになるのか？

ただ大きい方がいいという訳ではないかもしれない。

正しい判断基準をもとう

国家のあり方，取引される財・サービスの変化，マクロ経済学の進展に応じて，GDPも変化している。いい変化でさえ批判される可能性があるので注意が必要だ。

- 最近まで「中間投入」（控除項目）だったR&D支出が「投資」になった。技術進歩におけるR&Dの重要性が理解されてきたから。名目GDPは大きくなった。

これをもって「安倍政権がGDPを嵩上げした」という印象を与えかねない記事を書くことだってできる。

経済成長と 私たちの役割

ACEMOGLU, JOHNSON AND ROBINSON (2005)

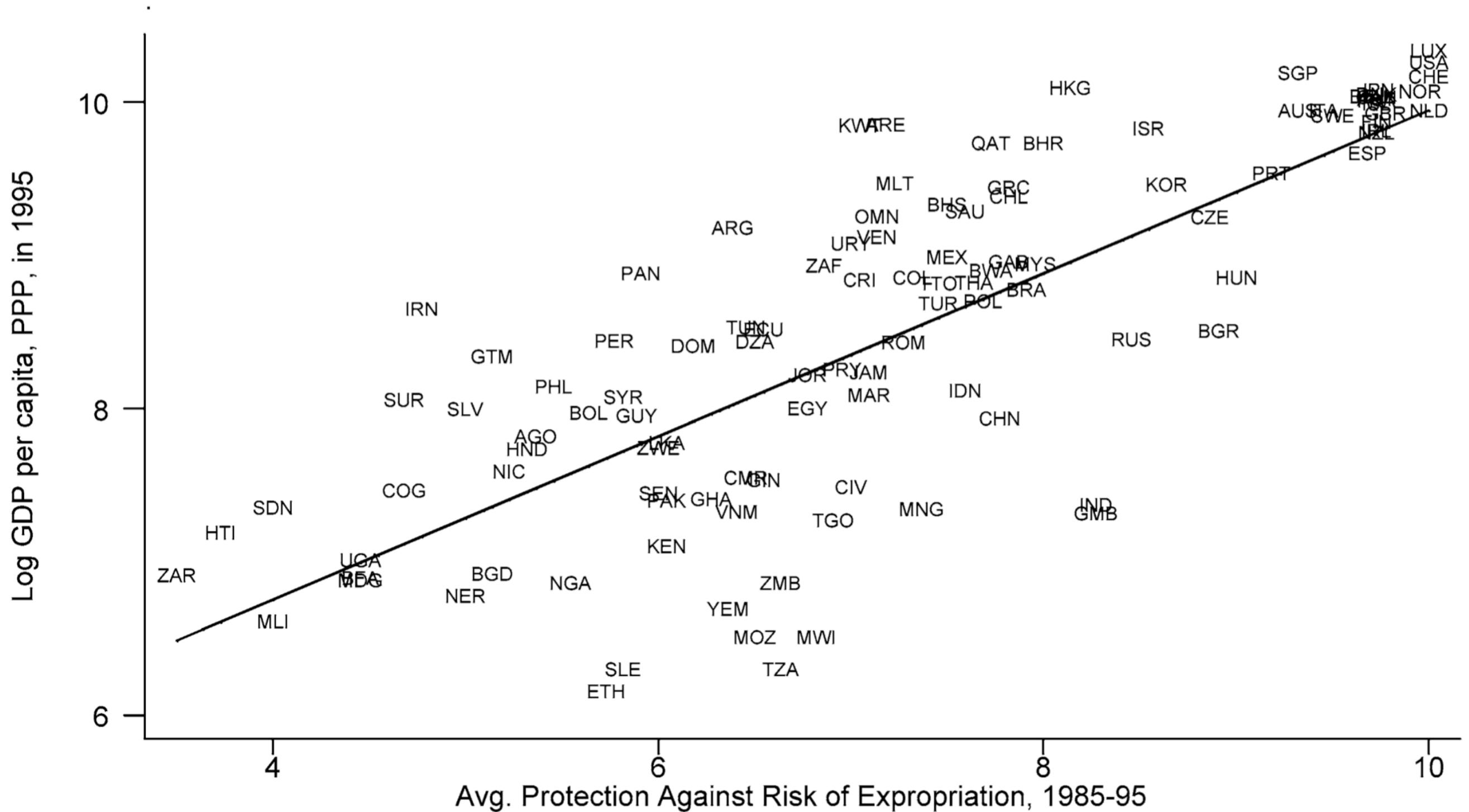
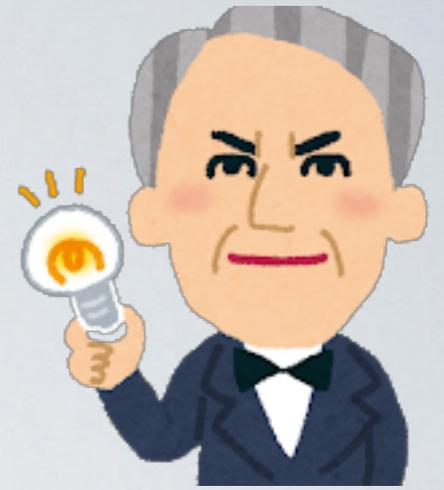


Figure 1. Average protection against risk of expropriation 1985–95 and log GDP per capita 1995.

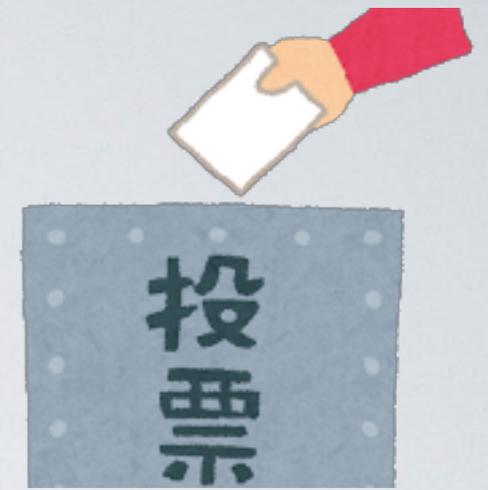
特許権と経済成長の源泉



- 特許権＝発明に対する一時的な所有権（独占権）。発明する動機になる
経済成長＝1人あたりGDPの増加。豊かな暮らしのために必要。
- 経済成長の源泉は社会の技術進歩であると考えられている
- 企業が高い費用をかけて技術開発（R&D）を行って蓄積した知識やノウハウがあるから、技術は進歩する。なぜ高い費用をかけてまで技術開発するかというと、特許が得られると他の企業を締め出して大きく稼げるから。（技術開発支出は「投資」と呼ぶにふさわしい）

経済成長 ← 技術進歩 ← 技術開発 ← 特許権 ← 財産権を保証する社会

私たちの役割



- 社会を動かすルールには自然と違って「摂理」なるものはありません。

制度も法律も人工的なものです

- 人工的なモノによって市場取引や経済成長は支えられています。それが一国の豊かさや、あなたや私の豊かさ、あるいは格差といった重大な社会構造を決めてしまいます。
 - 研究開発税制・特許・財産権・参入規制 etc.
 - よいものもあれば、悪いものもあるし、改悪・改良になる可能性はいつでもあります。

癒着や強欲によって政府の決定が歪められないように監視するのは私たちです

課題

ディスカッション課題

あなたは、次の1・2のどちらの考え方に近いですか。また、それはなぜですか。

他の学生と1対1で話をして意見交換を試みましょう（3人以上と話す）。聞いた話の要点を用紙に記入して提出してください。

1. 今でも十分豊かだから、1人あたりGDPはこれ以上大きく成長する必要はない。幸せを測る他の指標を重視するべきだ。
2. 1人あたりGDPが成長する未来が見えなければ、優秀な若者は日本を出ていくし、優秀な外国人が日本で働きたいとは思わない。着実な成長戦略が必要である。

レポート課題

GDP・経済成長に関する新聞記事（最近1年以内に刊行されたもの）で、社会にとって重要だと思うものをひとつ選んでください。

1. 記事の要約（短ければ丸写しでも可。記事の意図を変えて要約してはいけない）を書いた上で、
2. 記事の内容について、あなたの言葉で説明しなおしてください。また、なぜその内容が社会にとって重要だと考えたのか、その理由に関するあなたの意見を書いてください。

必ず指定された様式を使ってください。→ <http://kjst.jp/kiso18>

様式を印刷して手書きする場合は、ペンで読みやすい字で書くこと。

締切は来週月曜日の17:00、A4用紙に印刷してB1棟1Fの佐藤のBOXに投函

本スライドのイラストは以下のサイトからダウンロードしました

イラストレイン <http://illustrain.com>

いらすとや <https://www.irasutoya.com>